

日本における医療分野の研究開発に係る先進事例に関する

調査報告書

(本編)

令和5年3月

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

【目次】

第1章 事業概要	1
1. 事業の背景と目的	1
2. 調査内容	1
第2章 調査結果	2
1. 日本における医療分野の研究開発の先進事例の類型化調査	2
1-1. スタートアップ企業の抽出	2
(1) 医薬品分野	3
(2) 再生医療等製品分野	4
(3) 検査ツール、研究開発支援分野	5
(4) 医療用機器(検査、診断支援)分野	6
(5) 医療用機器(手術支援、POCT)分野	7
(6) 医療用機器(診断、治療、リハビリ支援)分野	8
(7) 医療IT、アプリ分野	9
(8) 医療情報等関連分野	10
(9) 医療機関等の経営効率化に関する分野	11
(10) その他、健康食品分野等	12
1-2. スタートアップ企業のマッピング	13
1-3. 注目スタートアップの類型化の視点	14
2. 公募要項作成に向けた検討	15
2-1. 要検討項目の整理	15
(1) 募集対象	15
(2) 審査基準	16
(3) 応募方法	16
2-2. 公募要項の作成	17
資料編	19
1. 公募ウェブサイト	19
2. 公募要項	19
3. エントリーフォーム	19
4. 応募様式(一般枠)	19
5. 応募様式(SU 枠)	19
6. 別紙:「第6回日本医療研究開発大賞:エントリーについて」	19
7. 周知用ポスター	19

第1章 事業概要

1. 事業の背景と目的

平成26年7月、健康・医療戦略推進法（平成26年法律第48号）に基づき設置された健康・医療戦略推進本部（本部長：内閣総理大臣）において、健康長寿社会の形成を目的とした健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画が決定された。この健康・医療戦略に規定された「国内外に向けた広報活動」に基づき、日本医療研究開発大賞が創設された。

同賞については、令和2年改定された健康・医療戦略において、「医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、国民の関心と理解を深めるとともに研究者等のインセンティブを高める」ものとして明記され、これまで5回の表彰が行われている。

本調査は、これまでの日本医療研究開発大賞を踏まえ、さらに医療分野の研究開発に関する広報効果・研究者のインセンティブ向上を高めることを目的として、日本における医療分野の研究開発に係る先進事例等についての類型整理を実施した。

2. 調査内容

- ・日本における国際的な医療分野の研究開発動向や技術動向を踏まえ、革新的な医薬品・医療機器等（再生医療等製品含む）の開発において重要な役割を担う事業者等について調査を行った。
- ・先行研究や業界関連紙及び雑誌記事、資金調達に関するニュース等をベースに主に文献調査によって実施した。
- ・第6回日本医療研究開発大賞の公募に関する選考基準・審査項目等の公募要項作成に必要な事項について、類似の医療・ヘルスケア領域におけるスタートアップ企業等の表彰事例を調査し、検討した。

第2章 調査結果

1. 日本における医療分野の研究開発の先進事例の類型化調査

日本における医療分野の研究開発の先進事例について、文献調査により抽出した。具体的には、幅広く我が国の医療・ヘルスケア領域におけるスタートアップ企業について調査し、リストアップした。そのうえで、抽出したスタートアップ企業について、取り組み内容について概要を調査し、類型化を行った。

調査結果は、我が国の医療・ヘルスケア領域のスタートアップ企業の中から、日本医療研究開発大賞の公募に当たって、どのような事例を抽出すべきかを検討のために活用した。

1-1. スタートアップ企業の抽出

スタートアップ企業に関するデータベース等を活用し、医療分野における注目スタートアップ企業を文献調査により抽出し、以下の通り分類した。

- (1) 医薬品分野
- (2) 再生医療等製品分野
- (3) 検査ツール、研究開発支援分野
- (4) 医療用機器（検査、診断支援）
- (5) 医療用機器（手術支援、POCT）分野
- (6) 医療用機器（診断、治療、リハビリ支援）分野
- (7) 医療IT、アプリ分野
- (8) 医療情報等関連分野
- (9) 医療機関等の経営効率化に関する分野
- (10) その他、健康食品分野等

(1) 医薬品分野

No	企業名	設立	事業内容
1	Delta-Fly Pharma	2010.12.06	医薬品開発、医薬品研究開発・マネジメント
2	TNAX Biopharma	2018.03.16	免疫受容体を標的とした医薬品の開発を手がける
3	オステオファーマ	2005.07.26	骨形成因子 BMP を用いた BMP 含有人工骨を医薬品として開発している会社
4	凜研究所	2016.01.21	抗体を主体とした医薬品及び体外診断用医薬品の研究開発をおこなうスタートアップ
5	エディットフォー ス	2015.05.15	PPR タンパク質を活用した独自の DNA/RNA 編集技術を活用して、医薬品開発に取り組むスタートアップ
6	ツーセル	2003.04.23	主に医療用の遺伝子と細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究開発、製造および販売を手掛ける企業
7	クオリプス株式会社	2017.03.21	「同種由来 iPS 細胞由来心筋シート」の開発・事業化を目的に設立された大阪大学発のスタートアップ
8	メタジェンセラピ ューティクス株式 会社	2020.01.17	マイクロバイオームサイエンスを活用した創薬・医療事業を展開するスタートアップ 同社は腸内環境情報を基盤とした創薬事業を推進するため設立されたメタジェンの関連会社
9	株式会社 chromocenter	2005.06.15	安定遺伝子発現細胞株の構築 タンパク質高生産系の開発 染色体解析サービス（「人工染色体ベクター」をはじめとする染色体解析等に関する特許を取得）
10	株式会社 Epigeneron	2015.04.16	ゲノム関連技術の開発を通じて新たな創薬・創薬支援事業やバイオテクノロジー事業を進めているスタートアップ
11	株式会社 Epsilon Molecular Engineering	2016.08.19	次世代抗体・ペプチドアダプターの創薬事業（自社・共同研究・アライアンス）
12	ナノキャリア	1996.06.14	ナノテクノロジーを利用した「ミセル化ナノ粒子技術」を応用した医薬品などの研究開発を行う

(2) 再生医療等製品分野

No	企業名	設立	事業内容
1	オリヅルセラピューティクス	2021.04.09	細胞移植による再生医療等製品の開発や iPS 細胞関連技術を活用した、創薬研究支援および再生医療研究基盤整備を展開
2	カノンキュア	2016.04.25	消化器疾患の再生医療等製品、及び医薬品の開発、製造販売事業
3	iHeart Japan	2013.04.18	iPS 細胞の分化誘導技術によって、心臓の再生医療の研究を行うスタートアップ
4	株式会社メトセラ	2016.03.0	線維芽細胞を用いた心臓疾患の治療方法の研究・開発を手掛けるスタートアップ。心不全向けの新しい再生医療等製品を、出来るだけ安価に提供する
5	株式会社 Epsilon Molecular Engineering (イプシロンモリキュラーエンジニアリング) (EME)	2016.08.19	次世代の機能性バイオ分子を、進化分子工学を用いた独自プラットフォーム技術で創出。従来の方法では困難であった標的分子に対する次世代のバイオ医薬 (VHH・ペプチドアダプター) の創出を行う
6	セルージュン	2015.01.16	iPS 細胞を利用した角膜内皮再生医療の研究開発を行う
7	Heartseed 株式会社	2015.11.30	iPS 細胞由来の再生心筋により、重症心不全患者の治療を目指す
8	メガカリオン	2011.09.09	iPS 細胞による血小板製剤の実用化を目指すスタートアップ。京都大学、東京大学の発明によるヒト iPS 細胞から血小板を産生する技術の臨床応用を目指して設立
9	サイフューズ	2010.08.11	独自の基盤技術を用いて、人工の足場材料を使用せずに立体的な組織・臓器を製造し、再生医療製品の実用化を進める

(3) 検査ツール、研究開発支援分野

No	企業名	設立	事業内容
1	ジーンクエスト	2013.06.20	遺伝子検査サービスの提供
2	Craif株式会社	2018.05.22	尿検査を通じた早期のがん診断を目指す
3	DRIPS	2019.07.25	マウスピースを用いてオンラインで施術できる歯科矯正サービス「hanaravi」を提供。3Dプリンターを用いてマウスピースを自社製造する。
4	ユカシカド	2013.03.15	"栄養"を軸に事業を展開しているスタートアップ。世界初の尿から栄養の過不足を簡単にWEB上で確認出来るパーソナル栄養検査サービス「VitaNote」などを展開
5	iBody	2018.02.01	モノクローナル抗体探索受託サービス・共同研究 新規抗体医薬品の研究開発
6	Liquid Mine	2019.11.07	医療に関する各種検査プログラムの開発、販売 遺伝子解析検査業務の受託 病理検査業務の受託 体外診断用医薬品の研究、開発、製造、販売 前各号の附帯関連する一切の事業
7	株式会社メタジェン	2015.03.18	腸内デザイン※に向けた研究開発支援を行うスタートアップ。※個人によって異なる腸内環境を適切に分類し、それぞれの腸内環境のタイプに合わせたアプローチを行うことで健康維持・疾患予防を目指していく層別化ヘルスケア
8	株式会社 Revorf	2019.11.11	遺伝子診断、創薬支援、医療情報解析を提供するスタートアップ
9	Preferred Networks	2014.03.26	機械学習のフレームワークである「Chainer」を提供している医療ITベンチャー。深層学習を用いて、創薬・オミックス解析・医用画像解析・化合物解析を中心に、ライフサイエンス分野の研究開発と事業化を行う
10	aiwell	2018.01.23	タンパク質の網羅的解析技術「プロテオミクス」をAIにより行うための研究開発とその実用化、社会実装の推進を行う

(4) 医療用機器（検査、診断支援）分野

No	企業名	設立	事業内容
1	スマートスキャン	2017.02.01	低価格で誰でも簡単に利用できる自費診断の脳ドック健診サービス「スマート脳ドック」を提供するスタートアップ
2	メドリッジ株式会社	2019.01.23	細胞分離・分取システム「細胞分取装置」を手がけるスタートアップ
3	DeepEyeVison 株式会社	2016.05.10	AIによる眼科画像診断支援システム（ディープラーニング）を用いた眼科向け医療機器プログラムを開発
4	AI メディカルサービス	2017.09.01	内視鏡の画像診断支援 AI（人工知能）を開発するスタートアップ
5	Luxonus	2018.12.11	光超音波 3D 撮影装置を開発する、キヤノン、京都大学、慶應義塾大学などが共同で設立したスタートアップ。既存の撮影技術では早期診断や病勢診断が困難だった疾患（血管障害・リンパ浮腫・乳がん等）に対して、無被爆、無侵襲（造影剤を使用しない）で、血管やリンパ管といった脈管の超高解像度 3D 撮影が可能
6	スキノス	2017.04.26	換気カプセル型発汗計のブランド「スキノス (SKINOS)」の開発、研究、提供を行う。「スキノス」は医療機関向け、研究機関向けの換気カプセル型発汗計装置
7	Splink	2017.01.11	認知機能測定ツール「CQ test」や脳ドックプログラム「Brain Life Imaging」など、ブレインヘルスケア事業を手がける。
8	アモス光機	2022.02.17	東京大学で研究した「大口径の液体レンズ」の開発、製造、販売事業を行う。液体レンズの大口径化を実用化し、産業用マシンビジョン、車載ディスプレイ、プロジェクター、ヘッドマウントディスプレイ、眼科用医療機器などに応用が可能
9	エルピクセル	2014.03.04	ライフサイエンスと画像解析に特化したソフトウェアやシステムの研究開発を行っている企業。AIを活用した医療加増診断支援技術の開発や、クラウド型画像解析プラットフォームである「IMACEL」を公開
10	9DW	2016.03.01	AIを用いた歯科用 CAD のプログラムを開発、特許取得

(5) 医療用機器（手術支援、POCT）分野

No	企業名	設立	事業内容
1	F.MED	2021.03.12	マイクロサージャリー（微小血管吻合）支援用のロボットシステムの開発・提供
2	Jmees	2019.10.18	AIを用いて外科医を支援する「外科手術支援システム」を開発・提供
3	メディカロイド	2013.08.29	医療用ロボットのマーケティングや開発・設計、製造、販売、アフターサービスを手がけるスタートアップ。2020年8月に国産初の手術支援ロボットを発売することを発表
4	リバーフィールド株式会社	2014.05.20	内視鏡ホルダロボット「EMARO」の開発・販売を行う国立大学発のスタートアップ
5	クリュートメディカルシステムズ	2013.04.18	大手光学機器メーカーHOYAからスピニアウトした、ヘッドマウント型視野計「アイモ」シリーズを開発する医療スタートアップ。「アイモ」シリーズは、世界初の持ち運びができる緑内障検査機器。
6	株式会社イムノセンス	2018.01.25	電気化学免疫測定法「GLEIA」により、POCT向け免疫センサー（血液検査デバイス）の開発を行う大阪大学発の医療機器スタートアップ。「GLEIA」は、サンドイッチ免疫測定法において抗体標識に金ナノ粒子を用い、その量を電極とポテンシostatにて電気化学的に定量することで、簡便なシステム構成で高い検出感度を実現する同社の特許技術。
7	フィジオロガス・テクノロジーズ	2020.03.16	透析機器と心筋梗塞の治療法の開発を行う。小型で可搬式、長期間で多回数の使用に耐えうる透析機器の開発を進めている。心筋梗塞に対しては、血液再灌流時の障害発生を抑制し、心臓の障害を低減できる新たな混合ガスを用いた治療法を開発している。
8	武蔵医研	2014.05月	呼吸同調器「アイビー」や流量調整器「カルミア」の開発を展開。「アイビー」は在宅酸素療法で使用するポケットサイズ呼吸同調器。
9	株式会社レキオパワー	2011.11.24	産婦人科医と共同開発した画期的な妊婦用遠隔エコーシステム「ポケمام」を提供。発展途上国や教育現場向けに開発した超音波スキャナーも提供している。

(6) 医療用機器（診断、治療、リハビリ支援）分野

No	企業名	設立	事業内容
1	mederi	2019.08.01	安心、安全を追い求めながら、心と体のバランスを整えるためのサービスを提供するフェムテックカンパニー。いつでもスマホから簡単に受診できる、「誠実」と「続けやすい」を大事にしたオンラインピル診療サービスを提供。
2	pluskampo	2019.01.01	オンライン問診票に記入すると、薬剤師が問診票の内容をもとにおすすめの漢方薬を選定、その場で購入できるサービス
3	株式会社ネクイノ	2016.06.03	ピルのオンライン処方アプリ「スマルナ」などを提供
4	MICIN	2015.11.26	オンライン診療サービス「curon」等のサービスの提供をしているスタートアップ
5	AssistMotion	2017.01.04	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・患者の動作支援・リハビリ訓練装置、ロボティックウェア curara®の製造、研究開発 ・ソフトロボティックデバイス PVCGEL の製造、研究開発、応用製品開発
6	CoreTissue BioEngineering	2016.11.29	脱細胞化技術を応用した医療機器の開発・製造・販売、人工靭帯の製品化を目指すスタートアップ
7	株式会社 BiPSEE	2017.07.10	精神疾患向けの VR を用いた新たな治療手法「BiPSEE Rumination」などを開発
8	ソニア・セラピューティクス	2020.02.10	がん治療機器「集束超音波（HIFU）治療装置」の開発を行う。「集束超音波」は、超音波を一点に集中させてがん組織に照射し、加熱効果などで切らずに治療する方法。放射線被曝が無いことから繰り返し治療ができ、がんに対する次世代治療として期待されている。
9	PFDeNA	2016.07	深層学習技術を活用し、がんを早期発見するシステムを開発している医療 IT ベンチャー
10	アイリス	2017.11.14	感染症診断用 AI 医療機器の開発
11	Holoeyes	2016.10.21	医療 VR の開発を行っている医療 IT ベンチャー。医師向けの手術シミュレーション「Holoeyes MD」を提供
12	株式会社テクリコ	2005 年	MR（複合現実）技術を利用したリハビリトレーニングサポートサービスを展開
13	ワイズ	2014.02.04	リハビリ事業（脳血管障害特化型リハビリ施設）やヘルスケア事業（リハビリ製品開発コンサルティング、リハビリ施設コンサルティング、デジタルコンテンツサービス、リハビリ研修サービス）を展開

(7) 医療 IT、アプリ分野

No	企業名	設立	事業内容
1	CureApp	2014.07.31	医療機関向けのニコチン依存症治療アプリ「CureApp SC」などを提供
2	メドメイン	2018.01.11	超高精度で迅速な病理診断を提供する「Pidport」などの開発・運営を行っている。AIによる病理画像診断ソフトは高精度かつスピーディに診断することを可能にするため、患者の負担を減らすことができる。
3	坪田ラボ	2012.05.28	ドライアイ研究で世界を牽引してきた知見に基づき実力視力計（ドライアイの視機能を測定）と実力視力アプリ、ストリップメニスコメトリー、ドライ用のサプリメント開発を行っている
4	ライフクエスト	2018.07.20	ソフトウェア医療機器の研究開発に取り組むスタートアップ。MCI（軽度認知障害）などを患った生活介入が困難な患者の日常意識や行動にアプリを通じて介入し、その状況に応じた意識や行動変容を促す仕組みを提供するアプリの開発も発表している。
5	カーブジェン	2021.03 月	細菌感染症分野における AI・バイオインフォマティクスを用いた次世代バイオ・医療関連技術の開発を行う。細菌感染症菌種推定アプリ・適正抗菌薬選定支援システム BiTTE（ビット）が WHO Western Pacific Innovation Challenge のファイナリストに選出された。
6	ザ・ファージ	2021.07.15	プログラム医療機器（SaMD/DTx）の開発。2型糖尿病患者向け治療用アプリ、妊娠糖尿病ヘルスケアアプリの開発ほか
7	バックテック	2016.04.04	肩こりや腰痛対策のためのソリューションを開発する医療 IT ベンチャー。ヘルスケア事業及び健康経営に係る事業領域で「ポケットセラピスト」を上市。肩こり・腰痛対策アプリ「アセスメントプラン」と「ソリューションプラン」を提供
8	METRICA	2018.03.30	在宅透析の AI モニタリングツール「PD Doctor' s Eye」を提供
9	ユーリア	2021.04.02	2分でわかる栄養価不足尿検査「Yuurea」を提供するスタートアップ。 「Yuurea」とは尿中の成分に応答するバイオマーカーを編み出し、検査キットとスマートフォンアプリを活用することにより簡便な3ステップで検出を可能にする検査
10	ウンログ	2013.08 月	観便を利用した健康管理・健康増進サービス（アプリ）の開発、販売

(8) 医療情報等関連分野

No	企業名	設立	事業内容
1	TechDoctor	2019.06.21	医療・製薬関連の研究機関向け、メンタル不調や精神疾患専用の医療データ分析ツール「SelfBase」（医療データ分析 SaaS）などを提供
2	からだポータル	2019.03.22	健康診断の結果を WEB で配信する「健診結果 Web 配信」や健康アプリを活用した健康イベントなどを開催
3	メディカルノート	2014.10.30	医師と患者をつなぐ総合医療サービス「Medical Note」を提供。「Medical Note」は、医療の第一線で活躍する約 2,000 名超の医師や専門家、800 にのぼる医療機関の協力のもと、人々に信頼できる最新の医療情報を提供するサービス
4	アメリエフ株式会社	2010.03.08	PHC ホールディングスの子会社。研究機関や医療機関を顧客とし、専門性の高い遺伝子解析技術を強みに遺伝子情報の受託解析や、遺伝子情報を解析するためのシステム開発などを行う。
5	Genomedia 株式会社	2013.10.31	東京大学発のスタートアップ。臨床情報と臨床シーケンス情報の統合管理を実現するデータ管理サービス「Genomedia® Front」を開発・提供する。
6	iPS アカデミアジャパン	2008.06.25	iPS 細胞等における特許発明の実施許諾（技術移転）事業、大学等で生まれた iPS 細胞等にかかる研究成果の知財化支援（発掘、評価、権利化）や特許補助金の提供、若手研究者向け研究助成活動を実施
7	M-INT	2021.02.22	医療に関する IT を活用した事業。特許取得済み「情報共有装置及び情報共有プログラム」を提供
8	マーソ	2015.02.06	日本最大級の予防医療プラットフォーム「MRSO.jp」などを運営。「MRSO.jp」は人間ドックや各種がん検診の予約ができる予防医療プラットフォーム
9	MOLCURE	2013.05.01	抗体医薬品探索プラットフォーム「Abtracer」を提供している医療 IT ベンチャー。Abtracer は、独自の人工知能技術によって副作用の少ない抗体医薬と呼ばれる治療薬を効率的に見つけることができるシステム
10	NAM	2017.10.03	医療、創薬に特化した人工知能の開発、ブロックチェーンによるデータ管理を行う。ゲノム解析と AI による創薬アルゴリズムの開発、チャットボットなどの医療用 AI を開発。
11	iMed Technologies	2019.04.01	動画解析を活用し脳血管内手術の安全性を向上させる手術支援 AI を開発。診断支援画像解析ソフトウェア「Neuro-Vascular Assist」の上市を目指している

(9) 医療機関等の経営効率化に関する分野

No	企業名	設立	事業内容
1	エピグノ	2016.09.02	医療・介護人材のマネジメントサービス「エピタルHR」等を提供するスタートアップ。「エピタルHR」は医療人材の能力とモチベーションを最大化し、医療クオリティと経営を向上させる医療人材マネジメントツール。
2	プレシジョン	2016.11.01	電子問診票制作システムや次世代診療マニュアルサービスである「Current Decision Support」を運営するスタートアップ
3	ペダルノート	2014.12.11	医療機器管理 IoT-SaaS システム「forista SECURE Asset」を運営。「forista SECURE Asset」は、病院内にある医療機器の“今”を可視化するシステム。
4	Arithmer	2009.10.19	活字と手書き、定型と非定型の紙文書や画像文書を高精度にテキスト化するツール「ArithmerOCR」の提供等を行っているスタートアップ。業務 AI チャットボットやバイオ実験と AI ロボットの融合開発などにも取り組んでいる。
5	エムディーエックス	2022.02 月	バイタル情報自動入力レシーバー「AVIS」などを運営するスタートアップ。次世代看護記録システムで看護記録の定型化・標準化をサポート
6	サイシード	2015.04	サイシードは医療機関などに向けたチャットサービスを提供している医療 IT ベンチャー

(10) その他、健康食品分野等

No	企業名	設立	事業内容
1	バイオプロジェクト	2006年	悪玉菌(病原微生物)を制御、防除する方法を研究実用化する、宮崎大学発のスタートアップ。
2	DAIZ 株式会社	2015.12.01	発芽大豆由来の植物肉「ミラクルミート」の開発・販売
3	株式会社タベルモ	2014.07.25	国内唯一、無味無臭の生スピルリナ「タベルモ」を提供しているスタートアップ
4	ベースフード	2016.04.05	完全栄養食品「BASE FOOD」を提供するスタートアップ
5	株式会社 digzyme	2019.08.26	バイオインフォマティクスにより新たな酵素触媒反応を創出・発見・評価するための研究開発プラットフォーム「digzyme Moonlight」を運営するスタートアップ
6	miup	2015.09.30	バングラデシュで検査センター事業や医療サービス事業を手がける医療 IT ベンチャー。AI 検診、遠隔診療および診断補助システムを開発。
7	TXP Medical	2017.08.28	病院電子カルテ端末上で稼働する救急外来の総合データプラットフォーム「Next Stage ER」の提供を行うスタートアップ

1-2. スタートアップ企業のマッピング

上記で洗い出したスタートアップを、ケアサイクルや、開発中のサービスについて、どのようなクライアントを対象としているかという観点に基づいて分類を行った。

また、マッピングの結果を参考にして表彰がふさわしい企業群を検討し、そのような企業群を選定するために適切な表彰基準を設定することとした。

図表 スタートアップの全体マッピングのイメージ

区分	研究	健康・予防	診断	治療		予後・介護
	研究基盤技術	健康管理	診断・検査	治療機器	医薬品	予後管理・介護
Toアカデミア 製薬企業	創業支援	腸内フローラ			次世代医薬品	
	細胞解析				再生医療	
	iPS細胞					
To医療機関・ 介護施設			診断機器・診断支援	手術ロボット		排せつ支援
			がんパネル検査	治療アプリ		業務支援
To患者 (個人)		遠隔健康医療相談		オンライン診療		
		健康管理アプリ	検体検査			
		腸内フローラ				

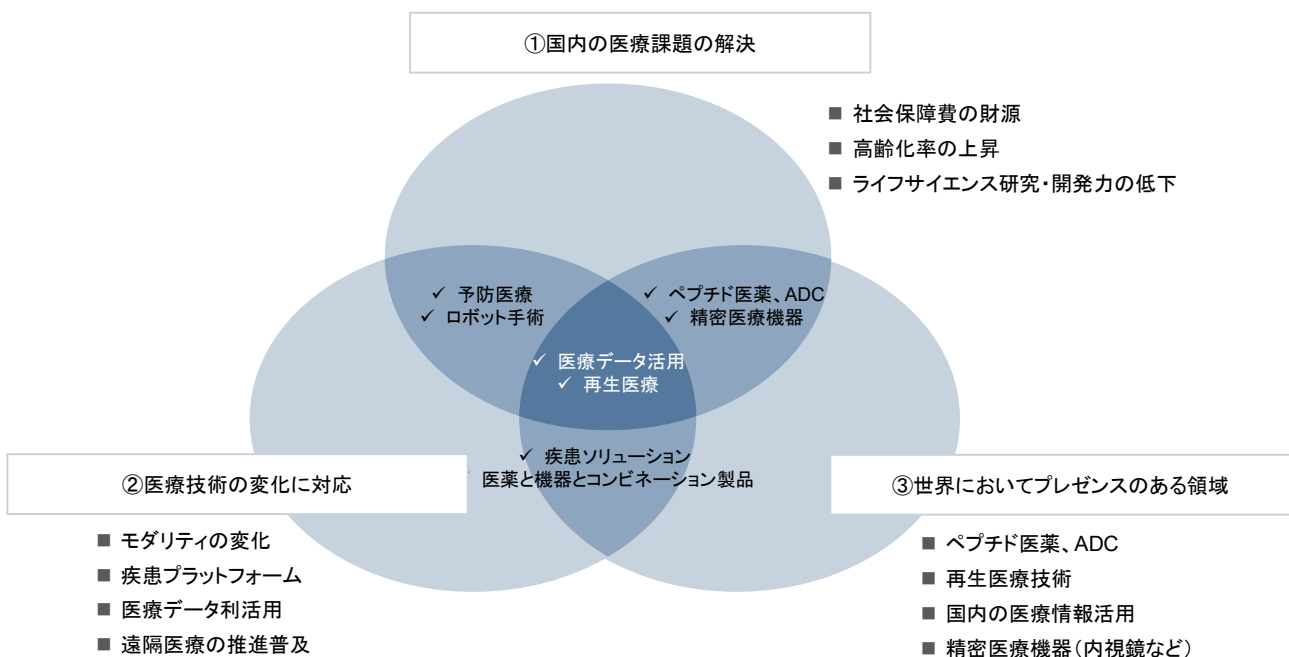
1-3. 注目スタートアップの類型化の視点

調査によって抽出したスタートアップ企業を類型化するにあたって、優れたスタートアップ企業を選定するための観点として、以下が導出された。

- ① 国内の医療の課題解決につながること
- ② 医療技術の変化に対応できていること
- ③ (国内産業が) 世界においてプレゼンスのある領域であること

上記を図式化すると、以下となる。

図表 スタートアップ企業の類型化にあたっての視点



例えば、社会保障費の財源や高齢化率の上昇といった社会の課題や、ライフサイエンス領域における研究・開発力の低下という課題の解決に向けた取り組みをさらに加速させる必要があることから、そのような①国内の医療の課題解決に資するスタートアップ企業の掘起しが必要となる。

また、近年はモダリティの変化や、医療データの利活用を可能にする疾患プラットフォーム等の新たな研究開発の基盤整備が進んだり、遠隔医療を実現するための技術開発が行われたりしている。そのような②医療技術の変化に対応するための取り組みも重要である。

最後に、我が国の医療・ヘルスケア領域での研究開発が、広く海外においても重要な意義を有する領域においてさらに研究開発を促進することの重要性から、③世界においてプレゼンスのある領域であることも考慮に入れるべきである。

2. 公募要項作成に向けた検討

2-1. 要検討項目の整理

公募要項の作成に向け、医療・ヘルスケア領域におけるスタートアップ等の表彰における公募要項等の調査を行った。その結果を踏まえ、公募要項の作成に向けて以下の項目について重点的に検討した。

- ・ 募集対象
- ・ 審査基準
- ・ 応募方法

特に、表彰に値する企業を選考するための審査基準については、関連する他の表彰における審査基準の考え方も参考に、慎重に検討を行った。

(1) 募集対象

日本医療研究開発大賞ではこれまで、医療分野の研究開発において優れた成果を収めた事例を表彰してきた。第6回の本賞においては審査対象を拡大し、これまでの一般枠に加えて、医療分野の研究開発において将来性が期待されるスタートアップ企業等を表彰するスタートアップ枠（以下、「SU 枠」という。）を新たに設け、公募により幅広く募集を行うこととした。本事業においてはSU枠の募集対象を決定するにあたり、以下の観点での検討を実施した。

① スタートアップ企業の定義

株式上場の有無については不問だが、他の類似の表彰事例等との関係や、スタートアップを表彰する目的に照らし、創業から概ね15年程度の企業はSU枠に応募することができるものとした。

また、審査対象を広げるため、経営の多角化や事業転換により新事業展開した場合など、社内ベンチャーも対象とすることとした。

応募に当たり、薬事承認済みであることや実際にサービスインしていることについては応募要件とはしないものの、審査の際には、薬事承認や上市されているかどうか、すでにサービスを提供し事業展開をしているか等を評価の対象とすると整理した。

② その他の応募資格について

応募に当たっては、必ずしも法人格を有する必要はなく、個人、企業、NPO法人、LCCなど、いずれも審査対象とした。

また、日本医療研究開発大賞として表彰するものであることから、研究開発、製品・サービスの提供、法人登記など、何らかの形で我が国に拠点を有している個人及び法人からの応募を受け付けた。

(2) 審査基準

審査基準については、第1回～第5回までの審査基準のほか、今回新設するSU枠の審査においては、類似の医療・ヘルスケア領域におけるスタートアップ企業等の表彰事例を調査し、検討した。

事例調査の結果から、①新規性・独自性、②社会へのインパクトに優れているか、③当該研究開発が、表彰の目的に照らし、表彰を行うに値するかどうかという点が審査基準となっているのではないかと考えられた。

そこで、1. 日本における医療分野の研究開発の先進事例の類型化調査からピックアップした注目スタートアップ企業に加え、事務局にて46件の企業について上記の観点に基づく分類・評価を行った。上記のプロセスを経て3つの観点で評価をすることは、注目企業を評価するための基準として一定の意義を有していると考えられた。

上記調査及び実際のスタートアップを対象とした評価結果を基に、内閣府及び各省と議論の上、第5回までの日本医療研究開発大賞の審査基準との連続性の観点も加味しながら、第6回の審査基準を決定した。

(3) 応募方法

公募方式によることで、表彰の対象となる事例を幅広く拾い上げ、裾野を広げられるようにした。

なお、応募に当たり書類作成等の一定の作業負荷が必要であることから、公募方式で表彰を行う際には、応募者に対して表彰によるインセンティブを明確化しておくことが肝要である。そのようなインセンティブがあることを幅広く訴求することは、応募の受付数を増やすうえで重要であり、今後、第7回以降の日本医療研究開発大賞においても多くの有望な事例を公募方式によって集めるためにも、継続して検討する必要がある。

スタートアップ企業が日本医療研究開発大賞に応募することのインセンティブとしては、以下のような視点で検討することが考えられる。それぞれの項目について、参考になると考えられる視点をまとめると以下の通りである。

- ・ 周囲に対するアピール
 - 表彰をきっかけに、企業や事業について知ってもらえる
 - ベンチャーキャピタルや金融機関等からの支援を受けやすくなる
 - 従業員や、従業員の家族が安心をする
- ・ 人脈づくり
 - 受賞者同士での横のつながり
 - 過去の受賞企業とのコネクション獲得の可能性
 - 授賞式におけるマッチング
 - 審査員とのコネクション獲得
- ・ ビジネス拡大のチャンス
 - 審査員の企業や業界の著名人等とのパイプによる業務拡大可能性
 - 賞金や、各省の補助事業等における採択等
 - 海外の展示会等への出展の権利

2-2. 公募要項の作成

検討の結果を基に、公募要項を作成した。

作成した公募要項については、資料編を参照のこと。

以上

資料編

1. 公募ウェブサイト
2. 公募要項
3. エントリーフォーム
4. 応募様式（一般枠）
5. 応募様式（SU 枠）
6. 別紙：「第 6 回日本医療研究開発大賞：エントリーについて」
7. 周知用ポスター

[トップ](#) > [お知らせ](#) > 内閣府「第6回日本医療研究開発大賞」の募集について

内閣府「第6回日本医療研究開発大賞」の募集について

2022/11/18



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：池田 雅一）は、内閣府健康・医療戦略推進事務局からの請負業務の一環として、第6回日本医療研究開発大賞の募集を行います。

表彰制度の概要

日本医療研究開発大賞は、大学、公的研究機関、企業等における医療分野の研究開発やその成果の実用化において、画期的・重要な成果を収める、先導的な取組を行うなど、研究開発の推進に多大なる貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の医療分野の研究開発の更なる進展に寄与することを目的とした表彰制度です。

「健康・医療戦略（閣議決定）」及び「医療分野研究開発推進計画（健康・医療戦略推進本部決定）」の下、平成29年度より実施しており、今回で6回目になります。

これまでは医療分野の研究開発において優れた成果を収めた事例を表彰してきましたが、今回より対象を拡大し、医療分野の研究開発において将来性が期待されるスタートアップ企業等を表彰するスタートアップ枠（以下、「SU枠」という）も新たに設け、公募により幅広く募集を行うこととなりました。

表彰の種類

【一般枠※1】

表彰名	選定数 ※2	表彰対象
内閣総理大臣賞	1件	極めて顕著な功績が認められる事例
健康・医療戦略担当大臣賞	1件	特に顕著な功績が認められる事例
文部科学大臣賞	1件	科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例
厚生労働大臣賞	1件	社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例
経済産業大臣賞	1件	経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

【SU枠】

表彰名	選定数 ※2	表彰対象
-----	-----------	------

スタートアップ賞（健康・医療戦略担当大臣表彰）	1件	スタートアップとして、特に顕著な功績と将来性が期待される事例
ファイナリスト（奨励賞）	数件	現時点ではスタートアップ賞の水準に達しないものの、将来性が期待される優れた事例

※1：上記の賞のほか、日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞を数件表彰する予定です。AMED理事長賞は、これまでにAMEDが支援を行った事例のうち、若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があった事例を、AMEDからの推薦を踏まえて選考します。

※2：選考の結果、基準を満たす案件が無い場合には、該当事例なしとする場合があります。また1件あたりの受賞者数は3名（3団体）までとします。

応募資格

応募の際には、公募要項をよくお読みいただき、一般枠とSU枠のいずれかひとつの枠を選択して応募してください。応募資格は下記の通り枠によって異なります。

【一般枠】

- ・医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人※3 ※4
- ・我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）

※3：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※4：過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では各賞の受賞対象とはなりません。

【SU枠】

- ・ 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人※5
- ・ 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）
- ・ エントリー時点で、創業※6または医療分野の研究開発に係る新規事業立ち上げ後、概ね15年以内の法人または個人であること

※5：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※6：社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。

応募期間

2022年11月18日（金）～2023年1月18日（水） 23時55分

応募・選考方法

- ・ 次の手順で応募してください。

(1) 下記の参考リンクより、「公募要項」、「エントリーフォーム 入力項目一覧」、「応募様式」をダウンロードしてください。

(2) 下記のエントリー用WebサイトURLにアクセスし、エントリーフォームの各欄に「エントリーフォーム 入力項目一覧」に記載の各種情報を入力してください。その際、必ず、エントリーフォームの「応募する」ボタンをクリックしてください。エントリーフォームの入力内容を事務局で受信後、自動配信メールを送付しますので、届かない場合には、事務局（murc-osjimukyoku_13@murc.jp）までメールでお問い合わせください。

※エントリーフォーム入力の際、途中保存をすることができません。予め、入力する内容を十分ご検討いただきますよう、お願いいたします。

(3) 「応募様式」に必要事項を記入の上、メールにて、事務局（同上）宛てにご提出ください。（郵送による応募はできません）

※エントリーフォームへの入力と応募様式の送信の双方を完了して初めて、応募の受け付けとなります。必ず、双方を募集期間内に完了してください。

※入力内容に不備がある場合には、再提出をお願いすることがあります。その場合も上記提出期間内に提出をお願いいたします。

※なお、必要に応じ、事業内容やビジネスモデルが分かる資料の追加提出をお願いすることがあります。また、応募内容に関する聞き取り調査を行う場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

- ・ 提出書類を元に、事務局及び関係府省による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会による審査を経て、受賞者の選出を行います。
- ・ 審査方法、審査基準、留意事項等については、公募要項をご覧ください。

エントリー用Webサイト

※ 応募資格を十分確認してから一般枠とSU枠のいずれかひとつの枠を選択して応募してください。

☐ https://murc-jimukyoku.smartcore.jp/nihoniryoku_entry

参考リンク

- ・ [PDF](#) 公募要項
- ・ 参考： [PDF](#) エントリーフォーム 入力項目一覧
- ・ 応募様式（ [Excel](#) 一般枠 / [Excel](#) SU枠）
- ・ 別紙： [PDF](#) 「第6回日本医療研究開発大賞：エントリーについて」
→別紙には、エントリーにあたってのご留意事項や、情報の取り扱いについての確認事項等、応募の際にご確認いただきたい事項を記載しております。エントリーフォーム入力・応募様式送付の前に、よくご確認ください。

表彰式について

開催日時、開催方法については、決定次第、別途お知らせします。

<参考>

☐ [内閣府 第5回日本医療研究開発大賞のウェブページ](#)

本件に関するお問い合わせ

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

第6回 日本医療研究開発大賞事務局 丹羽、加藤、小川

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2オランダヒルズ森タワー

E-mail : murc-osjimukyoku_13@murc.jp

報道機関からのお問い合わせ

コーポレート・コミュニケーション室 竹澤、杉本

E-mail : info@murc.jp

ニュース

[ニュースリリース](#)

[お知らせ](#)

サービス

[サービストップ](#)

[経営戦略](#)

[組織・人事戦略](#)

[デジタルイノベーション](#)

[国際（グローバルビジネス・開発援助政策・通商政策）](#)

[サステナビリティ（環境・資源・エネルギー・ESG・人権）](#)

[共生・ダイバーシティ](#)

[GRC（ガバナンス・リスク・コンプライアンス）・防災（政策）](#)

[経済・産業・雇用・労働](#)

[医療・介護・福祉・教育](#)

[自治体経営・官民協働](#)

[まちづくり・観光・スポーツ・スマートシティ](#)

[自然資源・農林水産業・食料システム](#)

ライブラリ

[ライブラリトップ](#)

[レポート](#)

[コラム](#)

[経済調査](#)

[経営用語集](#)

[メディア活動](#)

[寄稿記事](#)

[書籍のご案内](#)

[調査・研究報告書](#)

[受託・受注実績](#)

ご案内

企業情報

[企業情報トップ](#)

[社長メッセージ](#)

[私たちの想い](#)

[会社概要](#)

[役員一覧](#)

[沿革](#)

[組織図・本部部室紹介](#)

[決算公告](#)

[アクセスマップ](#)

[サステナビリティ](#)

[個人情報保護方針](#)

[反社会的勢力に対する基本方針](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[SNSアカウントコミュニティガイドライン](#)

ニュース

[ニュースリリース](#)

[お知らせ](#)

採用情報

English

お問い合わせ

サイト内検索

レポート内検索



本サイトのご利用にあたって

特定商取引法に基づく提示

個人情報保護方針

環境方針

アクセスマップ

サイトマップ

© Mitsubishi UFJ Research and Consulting Co., Ltd.

第6回日本医療研究開発大賞
公募要項

令和4年11月

【目次】

<u>1. 日本医療研究開発大賞概要</u>	- 2 -
■ <u>表彰の種類</u>	- 2 -
<u>2. 応募資格・審査基準</u>	- 3 -
■ <u>一般枠</u>	- 3 -
■ <u>SU 枠</u>	- 4 -
<u>3. 応募・選考方法</u>	- 5 -
■ <u>応募期間</u>	- 5 -
■ <u>選考及び審査の方法</u>	- 6 -
<u>4. 審査結果の通知方法</u>	- 6 -
<u>5. その他の留意事項</u>	- 7 -
<u>6. お問い合わせ先</u>	- 7 -

1. 日本医療研究開発大賞概要

日本医療研究開発大賞は、大学、公的研究機関、企業等における医療分野の研究開発やその成果の実用化において、画期的・重要な成果を収める、先導的な取組を行うなど、研究開発の推進に多大なる貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の医療分野の研究開発の更なる進展に寄与することを目的とした表彰制度です。

「健康・医療戦略（閣議決定）」及び「医療分野研究開発推進計画（健康・医療戦略推進本部決定）」の下、平成29年度より実施しており、今回で6回目になります。

これまでは医療分野の研究開発において優れた成果を収めた事例を表彰してきましたが、今回より対象を拡大し、医療分野の研究開発において将来性が期待されるスタートアップ企業等を表彰するスタートアップ枠（以下、「SU 枠」という。）も新たに設け、公募により幅広く募集を行うこととなりました。

■ 表彰の種類

一般枠^{※1}

表彰名	選定数 ^{※2}	表彰対象
内閣総理大臣賞	1 件	極めて顕著な功績が認められる事例
健康・医療戦略担当大臣賞	1 件	特に顕著な功績が認められる事例
文部科学大臣賞	1 件	科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例
厚生労働大臣賞	1 件	社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例
経済産業大臣賞	1 件	経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

SU 枠

表彰名	選定数 ^{※2}	表彰対象
スタートアップ賞 (健康・医療戦略担当大臣表彰)	1 件	スタートアップとして、特に顕著な功績と将来性が期待される事例
ファイナリスト (奨励賞)	数件	現時点ではスタートアップ賞の水準に達しないものの、将来性が期待される優れた事例

※1：上記の賞のほか、日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞を数件表彰する予定です。AMED 理事長賞は、これまでに AMED が支援を行った事例のうち、若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があった事例を、AMED からの推薦を踏まえて選考します。

※2：選考の結果、基準を満たす案件が無い場合には、該当事例なしとする場合があります。また 1 件あたりの受賞者数は 3 名（3 団体）までとします。

2. 応募資格・審査基準

1の「表彰の種類」に記載の通り、一般枠とSU枠の2つの枠を設けておりますので、いずれかひとつの枠を選択して応募いただくようお願いいたします。応募資格、審査基準はそれぞれの枠で異なりますので、下記の該当する箇所を参照ください。

■ 一般枠

【応募資格】

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人^{※3※4}
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）

※3：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※4：過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では受賞対象とはなりません。

【審査基準】

- 日本医療研究開発大賞（一般枠）では、以下の基準により優れていると評価される事例を表彰します。

（1）医療分野の研究開発やその実用化による革新性・先導性

医療分野の研究開発やその実用化^{※5}において、画期的・重要な成果を収めているもの、又は先導的な取組を行っているもの

（2）社会への貢献

次のいずれか又は複数の項目に該当する事例であること

- ① 科学技術・学術の振興に顕著な寄与をしているもの
- ② 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に顕著な寄与をしているもの
- ③ 経済及び産業の発展に顕著な寄与をしているもの

※5：人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

■ SU 枠

【応募資格】

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人^{※6}
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）
- エントリー時点で、創業^{※7}または医療分野の研究開発に係る新規事業立ち上げ後、概ね15年以内の法人または個人であること

※6：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※7：社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。

【審査基準】

- 日本医療研究開発大賞（SU 枠）では、以下の基準により優れていると評価される事例を表彰します。

（1）革新性

事業や業績及びその基礎となる医療分野の研究開発やその実用化^{※8}に革新性（独自性や新規性）があるもの

（2）社会への貢献

研究開発やその実用化及び研究開発を基にした事業が、国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など社会への貢献を果たすもの

（3）成長性及び将来性

今後の社会への貢献の拡大や将来性が大きく期待されるもの

※8：人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

3. 応募・選考方法

- 以下の web サイトを用いて公募を行います。
 - ◇ エントリー用 web サイト：
https://mure-jimukyoku.smartcore.jp/nihoniryoku_entry
- 一般枠、SU 枠のいずれかひとつを選択して応募ください。両方の枠への重複の応募はできません。
 - ◇ 自薦、他薦いずれも応募可能です。エントリーフォーム、応募様式に必要事項をご記入ください。他薦の場合には、応募者(選考対象)と推薦者で十分に調整をしたうえで応募してください。
- 次の手順で応募してください。
 - ◇ 「公募要項」、「エントリーフォーム 入力項目一覧」、「応募様式」をダウンロードしてください。
 - ◇ 上記のエントリー用 Web サイト URL にアクセスし、エントリーフォームに「エントリーフォーム 入力項目一覧」に記載の各種情報を入力してください。その際、必ず、エントリーフォームの「応募する」ボタンをクリックしてください。エントリーフォームの入力内容を事務局で受信後、自動配信メールを送付しますので、届かない場合には、事務局メールまでお問い合わせください。
 - ◇ エントリーフォーム入力の際、途中保存をすることができません。 予め、入力する内容を十分ご検討いただきますよう、お願いいたします。
 - ◇ 「応募様式」に必要事項を記入の上、メールにて、事務局宛てにご提出ください。(郵送による応募はできません)
- エントリーフォームへの入力と応募様式の送信の双方を完了して初めて、応募の受け付けとなります。必ず、双方を募集期間内に完了してください。
 - ◇ 入力内容に不備がある場合には、再提出をお願いすることがあります。 その場合も上記提出期間内に提出をお願いいたします。
 - ◇ なお、必要に応じ、事業内容やビジネスモデルが分かる資料の追加提出をお願いすることがあります。また必要に応じて、応募内容に関する聞き取り調査を行う場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

■ 応募期間

2022年11月18日(金)～2023年1月18日(水) 23時55分

■ 選考及び審査の方法

- 提出書類を元に、事務局及び関係府省による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会による審査を経て、受賞者の選出を行います。

4. 審査結果の通知方法

- 審査結果は、受賞者に直接通知します。選外となったものについては特に通知は致しません。なお、審査結果に関する問い合わせには一切お答えしかねますので、ご了承ください。
- 2023年夏頃に審査結果を内閣府ホームページ等で発表するとともに、表彰式を開催する予定です。表彰式については、受賞者の方に直接ご連絡します。

5. その他の留意事項

➤ その他の留意事項は以下の通りです。事前のご確認をお願いいたします。

- 提出いただいた資料は返却いたしませんので、あらかじめコピーをとる等手控えをご準備ください。
- 提出いただいた資料のほか、審査において必要となる資料（例えば、関連する知財のリスト、共同研究の実績等）について、事務局より追加的にご提出をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。
- 応募者は、本プログラムに応募するにあたって、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権並びに営業秘密及びノウハウ等の法的保護を受けられる情報について、あらかじめ自らの費用と責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えのない内容のものを事務局に提出してください。事務局及び審査関係者は、これらの法的権利や法的保護措置等については、一切の責任を負いたしません。
- 本プログラムへの応募に関して、審査関係者に対する働きかけを行った場合には、審査対象外あるいは受賞取り消しとします。
- 本募集要項に違反する事実、アイデアの盗用その他不正があった応募や受賞については、審査対象外あるいは受賞取り消しとする場合があります。
- 表彰式の様子は記録用として撮影させていただき、後日撮影した映像をHP等で公開することがありますので、予めご了承のうえで応募してください。
- 主催者は、法令の改正その他の理由により、この募集要項及び本プログラムの内容を変更することがあります。

6. お問い合わせ先

- 応募にあたってのご質問等については三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（株）内に設置された「日本医療研究開発大賞事務局」までメールにてご連絡ください。
- メールアドレス：murc-osjimukyoku_13@murc.jp

エントリーフォーム 入力項目一覧

※ピンクの網掛け部分は必須回答となります

1. 応募者（選考対象）基本情報

1	応募者名 <small>(企業・団体名、もしくは氏名)</small>	
2	応募者名 (フリガナ)	
3	所在地 (郵便番号)	〒
4	所在地 (住所)	
5	TEL	
6	e-mail	
7	企業・研究室URL (あれば)	

応募者ご本人とは別の方に連絡ご希望の場合は、以下をご入力ください (任意)

8	氏名	
9	氏名 (フリガナ)	
10	TEL	
11	e-mail	

応募の種類	自薦 <input type="checkbox"/>	他薦 <input type="checkbox"/>
-------	-----------------------------	-----------------------------

→2. 推薦者基本情報にお進みください

2. 推薦者基本情報 (他薦の場合は必ずご回答ください)

1	推薦者名 <small>(企業・団体名、もしくは氏名)</small>	
2	推薦者名 (フリガナ)	
3	所在地 (郵便番号)	〒
4	所在地 (住所)	
5	TEL	
6	e-mail	
7	企業・研究室URL (あれば)	

3. 応募の内容

応募対象	一般枠 <input type="checkbox"/>	SU枠 <input type="checkbox"/>
事業・業績のタイトル (50字程度)		
事業・業績の概要 (100字程度)		

4. 応募に当たっての確認事項

別紙に記載の「エントリーにあたっての留意事項」、 「情報の取扱いについての確認事項」の内容及び、公募要 項【応募資格】に記載の国家栄典を過去に受けていないこ とを確認した。	確認しました→ <input type="checkbox"/>	(同意チェック)
別紙に記載の「反社会的勢力の排除」の内容を確認し、同 意した。	確認しました→ <input type="checkbox"/>	(同意チェック)

応募様式【一般枠：様式に記入後、メールで事務局まで送付ください】

送付先：第6回 日本医療研究開発大賞事務局

E-mail：murc-osjimukyoku_13@murc.jp

1. 応募者（選考対象）基本情報

ふりがな			
応募者名 <small>（企業・団体名、もしくは氏名）</small>			
所在地（住所）	〒		
TEL		e-mail	
企業・研究室URL（あれば）			

応募者以外に連絡が必要な方（連絡窓口）

ふりがな			
氏名			
ふりがな		役職	
企業（所属先）名			
所在地	〒		
TEL		e-mail	

応募の種類	自薦 <input type="checkbox"/>	他薦 <input type="checkbox"/>
-------	-----------------------------	-----------------------------

2. 推薦者基本情報（他薦の場合は必ずご回答ください）

ふりがな			
推薦者名 <small>（企業・団体名、もしくは氏名）</small>			
所在地（住所）	〒		
TEL		e-mail	
企業・団体・研究室等のURL <small>（あれば）</small>			

3. 応募の内容 ※エントリーフォームと同じ内容を転記してください

事業・業績のタイトル <small>（50字程度）</small>	
事業・業績の概要 <small>（100字程度）</small>	

* 以下の項目は公募要項の審査基準も参照の上記載ください。

4-①. 事業・業績の主要な成果または先導性について1000字以内で記載してください。

自由記述 <small>（1000字以内）</small>	
----------------------------------	--

4-②. 当該事業・業績に関わる公開情報があれば、ホームページのURLを記載してください。（2件まで）

事業・業績に関わる公開情報	
---------------	--

5. 事業・業績の社会への貢献について、以下の3つの視点からアピールポイントを記載してください。
 （審査の際の参考とさせていただきますので、記載の無い欄があっても構いませんが、記載例を参考に可能な限り記入ください）

5-①. 科学技術・学術の振興に寄与した点

自由記述 (1000字以内)	(例) ・革新的なモダリティ開発につながる研究成果 ・論文の主要ジャーナルへの掲載事例、被引用件数など学術的な評価を示す情報（後日、必要に応じて論文を提出していただく場合有） ・新たな学会の構築など新たな研究領域を切り開いた事実（研究の革新性や先導性を示す情報） ・企業との共同研究の状況や研究成果が製品化に結びついた事例（間接的な事例でも可）など、研究成果の実用化や社会実装化を示す情報
-------------------	--

5-②. 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に寄与した点

自由記述 (1000字以内)	(例) ・患者数や既存治療など当該領域の医療等ニーズを示す情報 ・疾病に対する高い有効性や安全性を有することや診断・治療方法の改善を示す情報 ・患者負担の軽減、医療従事者の負担軽減など、社会的価値への貢献度や革新性、先導性を示す情報
-------------------	---

5-③. 経済及び産業の発展に寄与した点

自由記述 (1000字以内)	(例) ・上市以降の国内及び海外の市場規模や今後の成長率の見通しに関するマクロ的な情報 ・競合する技術・製品に対する優位性や国際競争力など、日本の産業競争力強化への貢献を示す情報 ・売上金額・数量、市場シェア（国内・世界）の今後10年程度の推移の見込みや今後の当該医薬品・医療機器等（製造基盤技術を含む）の開発に関する展望（対象の適用拡大、仕向地拡大、新規機能の拡充など）など、産業振興への貢献度を示す情報
-------------------	--

6. 当該事業・業績に関わる過去の表彰・認定歴

過去の表彰・認定歴	年月 (西暦で記載)	内容	主催機関名
	年 月		
	年 月		
	年 月		

（別紙）会社基本情報

※応募者の所属が企業の場合は記入をお願いします。

ふりがな				会社設立	西暦 月	年 日	
応募者名 <small>（企業・団体名、もしくは氏名）</small>							
法人番号							
資本金		千円	従業員数		人		
所在地	〒						
TEL/FAX				e-mail			
企業URL							
主要指標 （過去3年分） ※最新の年を上から順に ※「千円」単位で記載	決算期 （西暦で記載）		売上高	経常利益	純利益	純資産	従業員
	年	月	千円	千円	千円	千円	人
	年	月	千円	千円	千円	千円	人
	年	月	千円	千円	千円	千円	人
株主構成	株主名		持株数（株）		比率	備考（続柄など）	
	1			株	%	□	
	2			株	%	□	
	3			株	%	□	
	4			株	%	□	
	5			株	%	□	
	その他（ ）名			株	%	□	
合計					100%		
候補者本人			株		%	上位5名に候補者が入らない時	
公的機関からの 支援歴	期間（西暦で記載）		支援内容			支援機関名	
	年	月～年 月					
	年	月～年 月					
	年	月～年 月					

応募様式【スタートアップ枠：様式に記入後、メールで事務局まで送付ください】

送付先： 第6回 日本医療研究開発大賞事務局

E-mail： murc-osjimukyoku_13@murc.jp

1. 基本情報

ふりがな			
応募者名 <small>(企業・団体名、もしくは氏名)</small>			
所在地（住所）	〒		
TEL		e-mail	
企業・研究室URL（あれば）			

応募者以外に連絡が必要な方（連絡窓口）

ふりがな			
氏名			
ふりがな		役職	
企業（所属先）名			
所在地	〒		
TEL		e-mail	
応募の種別	自薦	＝	他薦
		＝	

2. 推薦者基本情報（他薦の場合は必ずご回答ください）

ふりがな			
推薦者名 <small>(企業・団体名、もしくは氏名)</small>			
所在地（住所）	〒		
TEL		e-mail	
企業・団体・研究室等のURL <small>(あれば)</small>			

3. 応募の内容 ※エントリーフォームと同じ内容を転記してください

事業・業績のタイトル <small>(50字程度)</small>	
事業・業績の概要 <small>(100字程度)</small>	

* 以下の項目は公募要項の審査基準も参照の上記載ください。

4-①. 事業や業績及びその基礎となる研究開発の革新性（独自性や新規性）について1000字以内で記載してください。

自由記述 <small>(1000字以内)</small>	
----------------------------------	--

4-②. 当該事業・業績に関わる公開情報があれば、ホームページのURLを記載してください。（2件まで）

自由記述	
------	--

5. 社会への貢献について1000字以内で記載してください。
(国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など)

自由記述
(1000字以内)

6. 今後の社会への貢献拡大のためのビジョンや、ビジョン達成のためにどのようなことに取り組むかについて、1000字以内で記載してください

自由記述
(1000字以内)

7. 当該事業・業績に関わる過去の表彰・認定歴

	年月	内容	主催機関名
過去の表彰・ 認定歴	年 月		
	年 月		
	年 月		

(別紙) 会社基本情報

ふりがな				会社設立		西暦 年 月 日	
応募者名 (企業・団体名、もしくは氏名)							
法人番号							
資本金		千円	従業員数			人	
所在地		〒					
TEL/FAX				e-mail			
企業URL							
主要指標		決算期 (西暦で記載)	売上高	経常利益	純利益	純資産	従業員
(過去3年分)		年 月	千円	千円	千円	千円	人
※最新の年を上から順に		年 月	千円	千円	千円	千円	人
※「千円」単位で記載		年 月	千円	千円	千円	千円	人
株主構成		株主名	持株数 (株)	比率	備考 (続柄など)		
		1		株 %	□		
		2		株 %			
		3		株 %			
		4		株 %			
		5		株 %			
		その他 () 名		株 %			
		合計		100%			
		候補者本人		株 %	上位5名に候補者が入らない時		
公的機関からの支援歴		期間 (西暦で記載)	支援内容			支援機関名	
		年 月 ~ 年 月					
		年 月 ~ 年 月					
		年 月 ~ 年 月					

第6回日本医療研究開発大賞：エントリーについて

こちらのページは、第6回「日本医療研究開発大賞」のエントリーフォームです。

第6回「日本医療研究開発大賞」の主催者である内閣府健康・医療戦略推進事務局より委託を受け、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が事務局を運営しております。

以下の「エントリーにあたってのご留意事項」、「情報の取扱いについての確認事項」及び「反社会的勢力の排除」の内容にご同意いただいたうえで、エントリーフォームに必要事項をご入力ください。

1 エントリーにあたってのご留意事項

1) 選考及び審査結果について

- ① 選考は書類審査です。ただし、必要に応じて、聞き取り調査へのご協力をお願いすることがあります。
- ② 表彰式の様子は一般に公開し、または記録用として撮影し、後日HP等で公開することがありますので、予めご了承のうえで応募してください。
- ③ 主催者及び審査関係者は、審査結果についての個別の問い合わせには応じません。

2) 応募について

- ① エントリーフォームの必須項目には必ずご記入ください。ご記入漏れがあると応募を受付できない場合があります。
- ② 提出いただいた資料は返却いたしませんので、あらかじめコピーをとる等手控えをご準備ください。
- ③ 応募者は、本プログラムに応募するにあたって、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権並びに営業秘密及びノウハウ等の法的保護を受けられる情報について、あらかじめ自らの費用と責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない内容のものを提出してください。主催者及び審査関係者は、これらの法的権利や法的保護措置等については、一切の責任を負いたしません。
- ④ 募集要項に違反する事実、アイデアの盗用その他不正があった応募や受賞については、審査対象外あるいは受賞取消しとする場合があります。

2 情報の取扱いについての確認事項

1) 個人情報の取扱い方針

応募者情報に含まれる個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が定める「個人情報保護方針」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy/>)及び、「個人情報の取り扱いについて」(<http://www.murc.jp/privacy/>)に従って、適切に取り扱います。

2) 個人情報の利用目的

応募者情報に含まれる個人情報は、第6回「日本医療研究開発大賞」の各賞についての書類審査、聞き取り調査、審査結果の公表、表彰式の開催、その他本賞の運営・実施に必要な目的に利用します。また、審査終了後には応募者に対する運営者から関連する案件の照会等における連絡の手段として利用します。

応募書類に記載された個人情報その他の情報は、上記以外の目的には使用いたしません。

3) 個人情報等の取扱いの委託

利用目的の範囲内において、運営者以外の第三者に応募者情報（個人情報を含みます）の取扱いを委託することがあります。その場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって個人情報等の保護水準を守るよう定め、個人情報等を適切に取り扱います。

4) 個人情報等の第三者提供

第6回「日本医療研究開発大賞」に関してご提出いただく応募者の企業情報、事業内容等（以下「応募者情報」といいます。）は、主催者である内閣府健康・医療戦略推進事務局並びに、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、内閣府の選定する本賞の審査関係者に、以下の通り第三者提供いたします。

- ・第三者に提供する目的： 日本医療研究開発大賞における各賞の審査のため
- ・提供する個人情報の項目： 氏名、企業／ご所属名、メールアドレス、電話番号
- ・提供の手段又は方法： 電子ファイルによる提供
- ・提供先： 内閣府健康・医療戦略推進事務局並びに、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、内閣府の選定する本賞の審査関係者
- ・個人情報の取扱いに関する契約の有無： 契約はございません

5) 個人情報に関するお問い合わせ

お預かりした個人情報の開示、訂正等、利用停止等もしくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、第三者提供の停止、第三者提供記録の開示、その他の問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

日本医療研究開発大賞事務局 担当：丹羽

E-mail：murc-osijimukyoku_13@murc.jp

3 反社会的勢力の排除

- 1) 応募者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）

に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。

- ① 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - ② 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ③ 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - ④ 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - ⑤ 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 2) 応募者は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約します。
- ① 暴力的な要求行為
 - ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③ 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - ④ 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて運営者の信用を毀損し、または運営者の業務を妨害する行為
 - ⑤ その他前各号に準ずる行為
- 3) 応募者が、暴力団員等もしくは1)各号のいずれかに該当し、もしくは2)各号のいずれかに該当する行為をし、または1)の規定にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、応募を受け付けることができません。また、応募後にこれらが判明した場合には、審査対象外あるいは受賞取り消しとします。また、賞金等の返還請求を行う場合があります。

上記の「エントリーにあたってのご留意事項」「情報の取扱いについての確認事項」及び「反社会的勢力の排除」の内容にご同意いただいたうえで、ご応募ください。なお、主催者は、法令の改正その他の理由により、この募集要項及び本プログラムの内容を変更することがあります。

★エントリーフォームはこちらからご確認ください★

https://murc-jimukyoku.smartcore.jp/nihoniryoku_entry

※ご注意ください

- エントリーフォームの入力を完了するためには、「応募する」ボタンをクリックしてください
- エントリーフォームの入力、及び、応募様式の事務局宛てに e-mail 送付いただくことの双方を完了して初めて、正式なエントリーとなりますのでご注意ください。

第6回

日本医療研究開発大賞
—公募開始のご案内

日本医療研究開発大賞の概要

日本医療研究開発大賞は、大学、公的研究機関、企業等における医療分野の研究開発やその成果の実用化において、画期的・重要な成果を収める、先導的な取組を行うなど、研究開発の推進に多大なる貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の医療分野の研究開発の更なる進展に寄与することを目的とした表彰制度です。

(過去の受賞者はこちらをご覧ください。<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/suisin/kaisai.html>)

今回より、**公募方式に変更**するとともに、従来的一般枠に加え、**スタートアップ枠(以下、「SU枠」という。)**を新たに設定します。積極的にご応募ください。

表彰の種類

【一般枠】

表彰名	選定数	表彰対象
内閣総理大臣賞	■ 1件	■ 極めて顕著な功績が認められる事例
健康・医療戦略担当大臣賞	■ 1件	■ 特に顕著な功績が認められる事例
文部科学大臣賞	■ 1件	■ 科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例
厚生労働大臣賞	■ 1件	■ 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例
経済産業大臣賞	■ 1件	■ 経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

【SU枠】

表彰名	選定数	表彰対象
スタートアップ賞 (健康・医療戦略担当大臣表彰)	■ 1件	■ スタートアップとして、特に顕著な功績と将来性が期待される事例
ファイナリスト(奨励賞)	■ 数件	■ 現時点ではスタートアップ賞の水準に達しないものの、将来性が期待される優れた事例

※ 上記の賞のほか、日本医療研究開発機構(AMED)理事長賞を数件表彰する予定です。AMED理事長賞は、これまでにAMEDが支援を行った事例のうち、若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があった事例を、AMEDからの推薦を踏まえて選考します。

募集期間

2022年11月18日(金)～2023年1月18日(水)23:55

応募方法

下記のサイトからお申込みください

https://www.murc.jp/publicity/news/news_221118/

※公募要項は以下です

<https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2022/11/kouboyokou.pdf>

応募資格

■ 一般枠

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）

■ SU枠

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）
- エントリー時点で、**創業または医療分野の研究開発に係る新規事業立ち上げ後、概ね15年以内の法人または個人であること**

- ※ 既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。
- ※ 研究開発の実用化には、人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。
- ※ 過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では各賞の受賞対象とはなりません。
- ※ 創業には、社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。
- ※ 詳細については、**公募要項** (<https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2022/11/kouboyokou.pdf>) をご確認ください。

公募要項のリンクは11月18日より閲覧いただけます

応募方法

サイトは11月18日より閲覧いただけます

応募について：https://www.murc.jp/publicity/news/news_221118/

エントリーフォーム：https://murc-jimukyoku.smartcore.jp/nihoniryou_entry



一般枠とSU枠では応募資格、審査基準がそれぞれ異なります。

公募要項をよくご参照の上、**どちらか一つの枠を選択して**、応募してください。

自薦・他薦は問いません（他薦の場合は推薦者の情報が必要です）。

申込締切

①エントリーフォーム入力

- 「エントリーフォーム」（上記URL）をクリックし、必要項目を入力し、「応募する」ボタンを押してください。
- 項目は「エントリーフォーム入力項目一覧」を参照ください。

②応募様式のメール送付

- 「応募様式」（一般枠とSU枠どちらか一つを選択）をダウンロードし、必要事項を記載の上、**事務局までe-mail** (murc-osjimukyoku_13@murc.jp) にて送付ください。

③エントリー受付

- エントリーフォームへの入力と、応募様式の提出の双方を行っていただいて初めてエントリー受付が完了します。
- 選考過程において必要に応じて追加資料等のご協力をお願いします。

④選考

- 事務局及び関係府省による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会により審査いたします。
- 選考結果の公表は2023年夏を予定しています。

日本における医療分野の研究開発に係る先進事例に関する調査報告書

令和5（2023）年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社